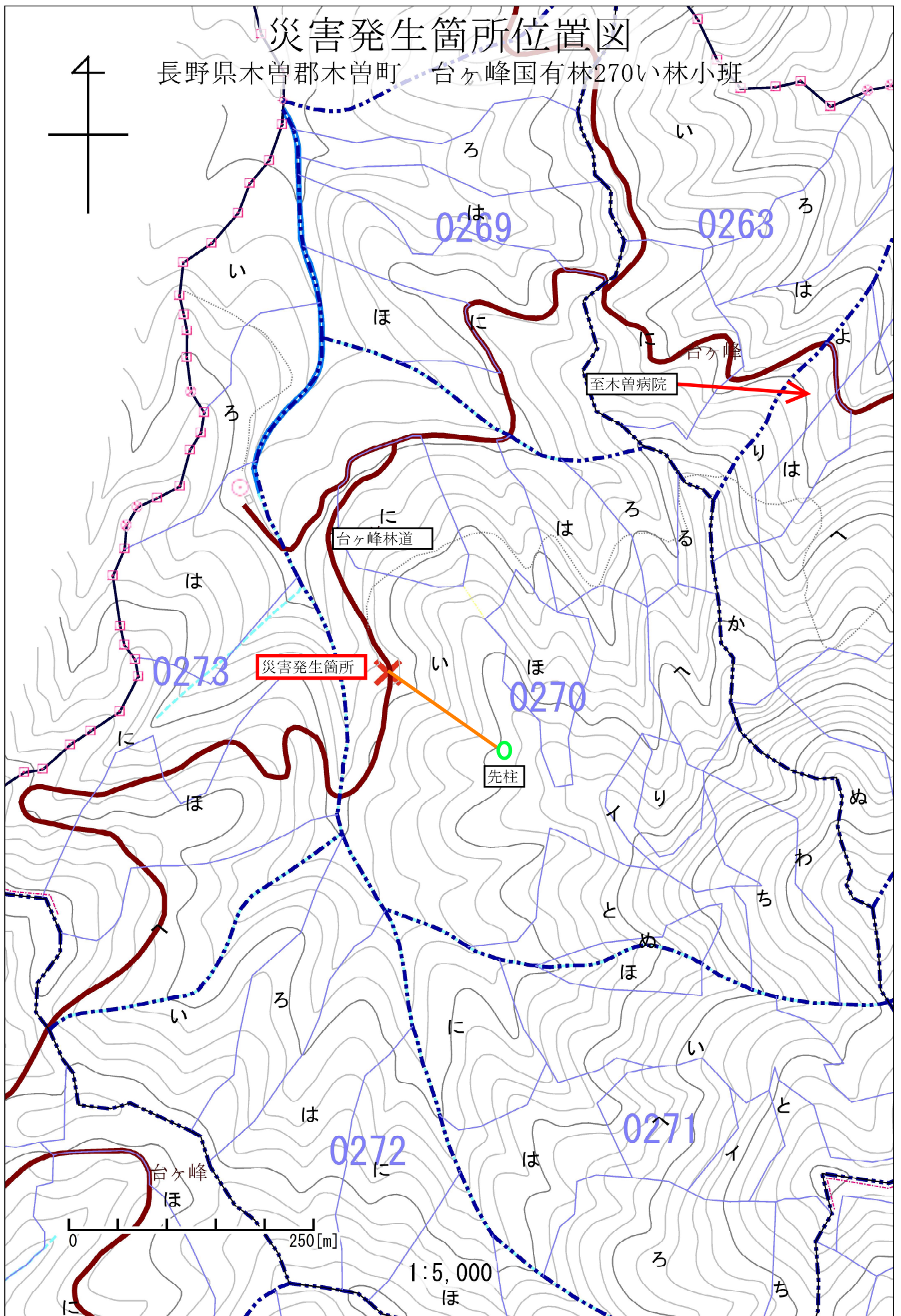
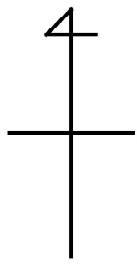


請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

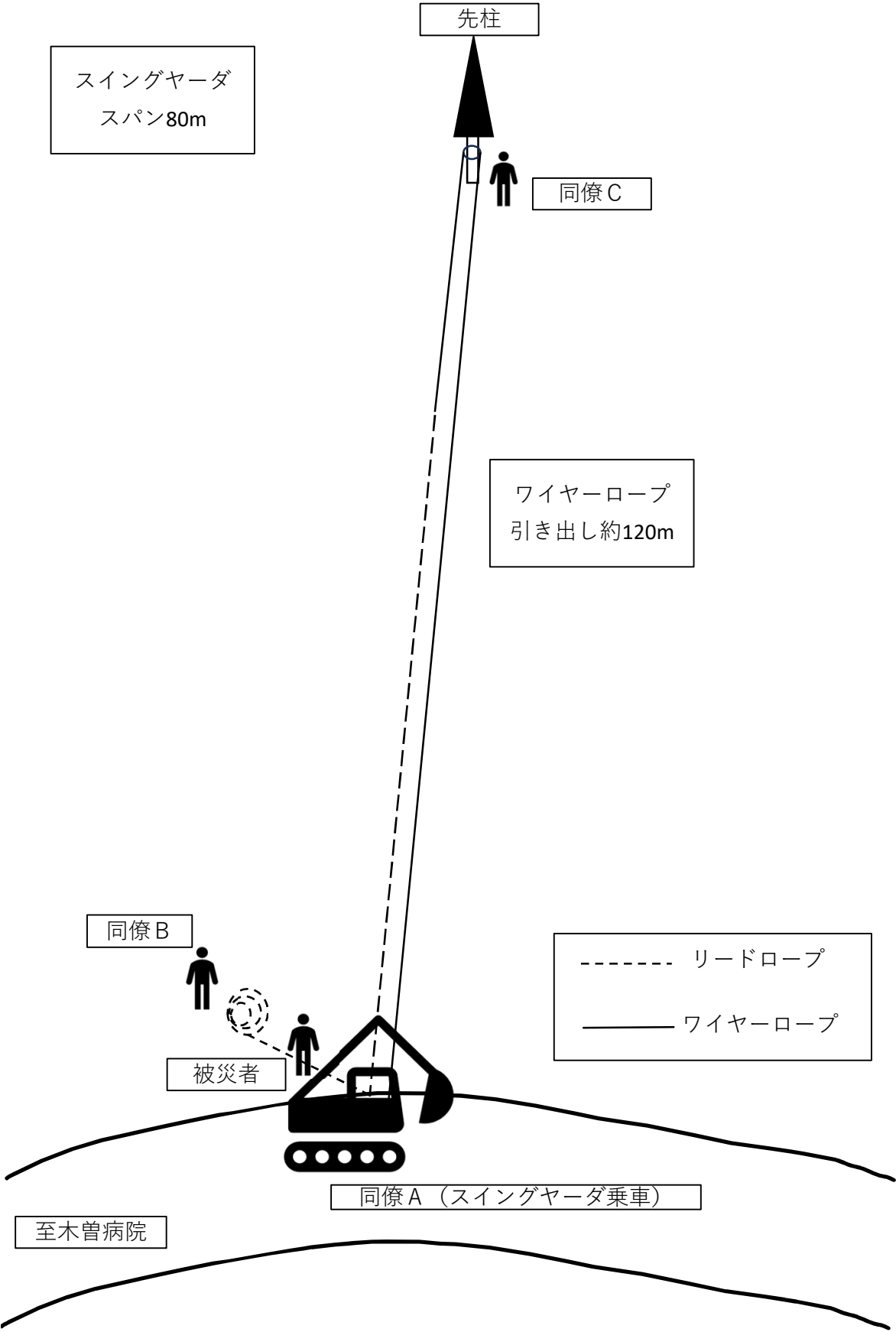
1 署 等 名	木曽森林管理署
2 事業の種類	森林環境保全整備事業(保育間伐活用型 木曽 2 4 台ヶ峰)
3 災害発生日時等	令和 6 年 6 月 4 日(火) 12 時 00 分頃発生 怪我の程度：左母指根部挫創、左第3指先端指腹部挫創・末節骨骨折 治癒見込み：2週～4週程度
4 災害発生場所	長野県木曽郡木曽町 台ヶ峰国有林 270 い 林小班
5 契約相手方	木曽協和産業株式会社 代表取締役 神田 一哉
6 事業実行事業体	同上
7 被災者年齢等	年齢：18 歳 性別：男 2の事業の経験年数：2か月 雇用区分：常雇 社会保険等加入状況：(労災)(雇用)(健康)(厚生)(林退)
8 従事作業	簡易架線集材架設作業
9 災害概況	当日、被災者は、同僚3名とスイングヤードによる簡易架線集材の架設作業に従事していた。 作業配置：被災者（リードロープ巻取り作業）、同僚A（オペレーター）、同僚B（リードロープ巻取り作業）、同僚C（先柱作業） 被災者と同僚A及び同僚Bは林道沿いで、リードロープ（8mm、200m）をエンドレスドラムに巻き付け、リードロープとワイヤーを入れ替える作業に従事、同僚Cは、林道から約80m先の先柱で作業を行っていた。 12時00分頃：リードロープを約120m巻き取ったところでスイングヤードのリアドラムが突然乱巻き状態となりワイヤーが緊張したため、同僚A（オペレーター）はエンドレスドラムのリードロープの緊張を解こうと、ゆっくりと送り出す合図を被災者と同僚Bに無線連絡しながら送り出していた。その時、被災者はエンドレスドラムに巻き付けていたリードロープの内角に入り、かつ、エンドレスドラムの斜め前からリードロープを両手で掴んで引っ張り続けていたところ（再現写真①）、何らかの原因でエンドレスドラムからリードロープが突然外れ、先柱方向へ引っ張られたため、被災者は、掴んでいたリードロープから手を離すのが遅れ被災した。 （再現写真②） 12時10分頃：同僚Aと同僚Bは被災者の止血等を行い、同僚Bが携帯電話により会社へ連絡をし、社用車にて直ちに木曽病院へ向かうことを伝えた。 12時30分頃：長野県立木曽病院に到着。 12時40分頃：木曽森林管理署へ災害発生の一報を連絡。 17時00分頃：被災者は治療を終えて帰宅。（翌日再診し診断結果の説明を受けた。）
10 その他特記すべき事項	6月5日 社内安全会議（災害再発防止対策）を現場にて実施（下請け業者含む） 災害概要及び災害防止対策を木曽森林管理署へ説明。 松本労働基準監督署へ災害報告。

災害発生箇所位置図

長野県木曽郡木曽町 台ヶ峰国有林270い林小班



災害見取り図



災害発生時の再現写真

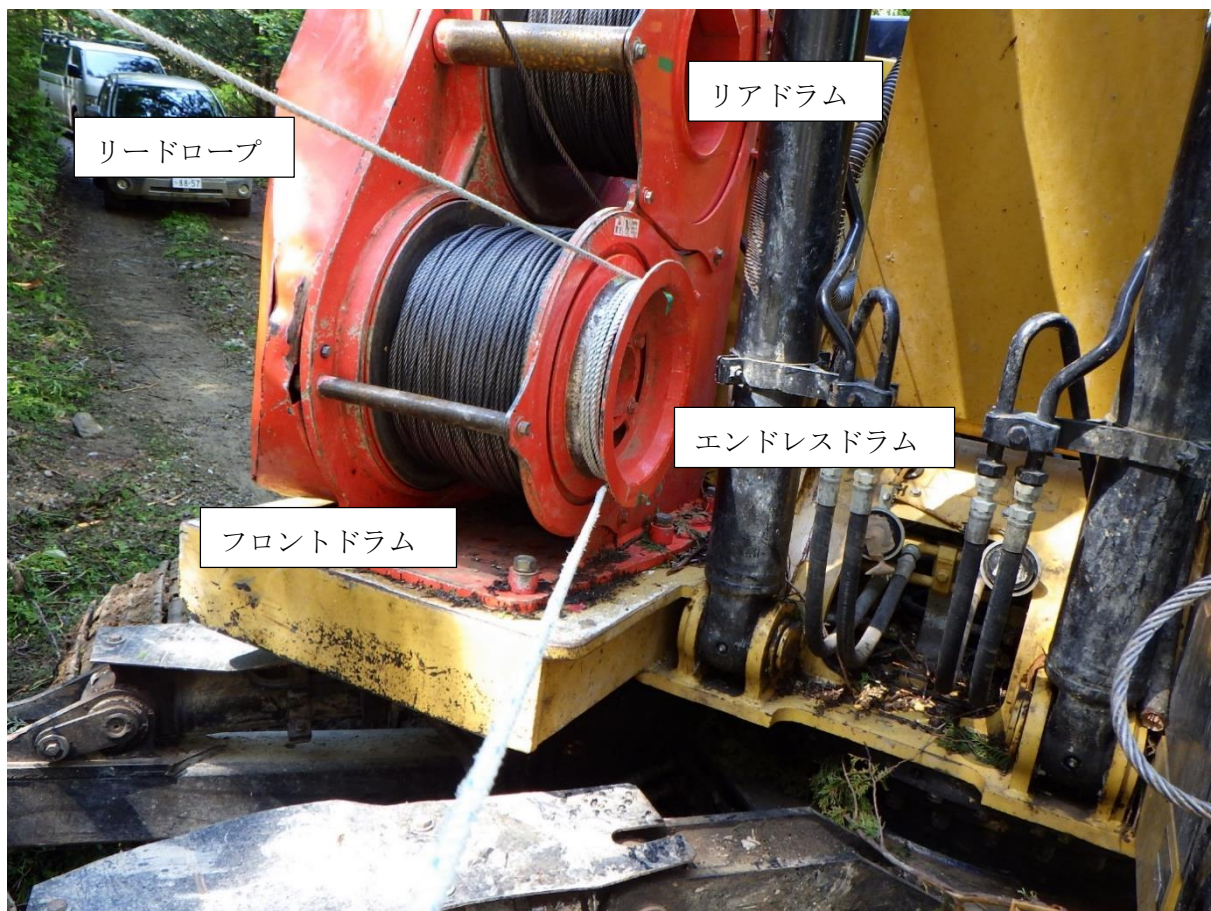
①



②



参考：スイングヤーダのドラム構造等



※災害発生時はフロントドラムにワイヤーはなし。

フロントドラムとエンドレスドラムは軸で一体となっている構造。

災害発生時、リードロープとリアドラムから送り出していたワイヤーが結束され、先柱を通り、引き回しを行っていた。（見取り図参照）